

- 問1 1918年に日本で初めて衆議院の第一党を基盤とした本格的な政党内閣を組織した人物は誰？
- 問2 1922年の全国水平社結成時に中心的な役割を果たした人物は誰？
- 問3 平塚らいてうの活動が象徴するような、女性の社会的地位の向上と権利の獲得を目指す運動を何という？
- 問4 大正デモクラシーの時代、民衆の意思を政治に反映させようとする運動のよりどころとなった、明治時代に制定された根本法典は何？
- 問5 第一次世界大戦後の軍縮を議論するために、1921年からアメリカで開かれた国際会議を何という？
- 問6 大正時代、平塚らいてうが先導した、女性の社会的地位の向上と性差による差別からの解放を目指す運動を何という？
- 問7 ヨーロッパ諸国が生産を停止したことで急増し、日本の産業を発展させた経済活動を何という？
- 問8 ワシントン会議で合意された、太平洋地域の軍備制限に関する取り決めを何という？
- 問9 第一次世界大戦後に朝鮮で発生した、日本からの独立を求める大規模な民族運動を何という？
- 問10 第一次世界大戦の講和会議として開かれ、ドイツの賠償金や国際連盟の設立を決定した1919年の条約を何という？
- 問11 雑誌『青鞥』を創刊し、日本での女性解放運動の先駆けとなった人物は誰？
- 問12 シベリア出兵の際、日本とともに軍隊を派遣した国はどこ？
- 問13 1919年、ベルサイユ条約で日本の山東省権益継承が決まったことに反対して、中国で起こった大規模な反日運動を何という？
- 問14 陸軍・海軍・外務大臣以外の閣僚を政黨員で組織した内閣を何という？
- 問15 「女性は太陽であった」という言葉を掲げ、大正時代の女性解放運動の中心となった人物は誰？
- 問16 大正時代に1冊1円という低価格で出版され、知識や文学が広く大衆に広まるきっかけとなった出版物を何という？
- 問17 1912年に再び内閣を組織し、民衆から批判を浴びて第一次護憲運動の発端となった長州藩出身の政治家は誰？
- 問18 大正時代に広まった、個人の尊厳や民主主義を重んじる風潮を何という？
- 問19 米騒動のあとに首相となり、平民宰相と呼ばれた政治家は誰？
- 問20 大正時代、桂太郎内閣を総辞職に追い込み、憲法に基づく政治のあり方を求めたこの運動を何という？

答え合わせ・解説

問1	答え 原敬	原敬は、衆議院で多数を占めた立憲政友会の総裁として首相に就任しました。華族出身ではなく、平民出身の首相として「平民宰相」と親しまれ、二大政党制の先駆けとなる体制を確立しました。積極的な教育政策やインフラ整備にも取り組みました。
問2	答え 西光万吉	西光万吉は、1922年に京都市で開かれた全国水平社の結成大会において指導的役割を果たしました。彼が中心となって作成された「水平社宣言」は、被差別の人々が被害者としてではなく、人間として対等な権利を持つことを力強く訴えました。
問3	答え 女性参政権運動	当初は文学的な自己主張から始まった運動でしたが、やがて平塚らいてうらは政治に関わる権利を求める運動へと発展させました。1920年代には新婦人協会などが結成され、女性にも選挙権を付与するよう国に強く働きかけました。
問4	答え 大日本帝国憲法	天皇を国家元首とし、統治権を天皇に帰属させる仕組みを定めていました。しかし、大正時代に入ると、この憲法が定める議会制度などを活用し、民衆の声を政治に届ける「大正デモクラシー」の動きが活発化しました。吉野作造らの論者は、憲法の枠組みの中でも解釈次第で議会政治を発展させられると考えました。
問5	答え ワシントン会議	1921年から1922年にかけてワシントンで開催されました。この会議では、主力艦の保有比率を制限する海軍軍縮条約や、太平洋の現状維持を約束する四力国条約などが結ばれました。各国の軍備競争を抑え、アジア・太平洋地域の国際秩序を安定させることを目的としていました。
問6	答え 女性解放運動	平塚らいてうは、文学活動である『青鞥』から出発し、やがて具体的な社会改革を目指すようになります。彼女は、女性の政治参加を認めない制度や、不平等な法律を批判し、参政権獲得などを求めました。これは当時の男性中心の社会に対する真っ向からの挑戦であり、後の社会変革の先駆けとなりました。
問7	答え 輸出	この好機を捉え、日本はアジアやアメリカ市場に向けて綿製品や雑貨、船などの輸出を急増させました。これにより日本の工業力は飛躍的に高まり、貿易黒字が定着しました。
問8	答え 海軍の軍縮	ワシントン会議では、主力艦の保有制限が合意され、日本・アメリカ・イギリスなどの軍艦保有量が一定の枠が設けられました。これにより一時的に海軍の軍備競争が緩和されました。
問9	答え 三・一独立運動	1919年3月1日、朝鮮の独立を求める人々が各地でデモを行いました。これが「三・一独立運動」です。平和的なデモに対し、当時の日本の統治当局は武力で厳しく弾圧したため、国際的にも注目を集めました。
問10	答え ベルサイユ条約	1919年にフランスのベルサイユ宮殿で締結された条約です。ドイツに対し多額の賠償金と領土の割譲を命じたほか、軍備を大幅に制限しました。また、平和を守るための国際機関である「国際連盟」の設立もこの条約で決められました。
問11	答え 平塚らいてう	平塚らいてうは、1911年に女性だけの手による文芸雑誌『青鞥』を創刊しました。創刊号の宣言文にある「元始、女性は太陽であった」という言葉は有名で、女性の目覚めと自立を力強く訴えました。当時の厳しい社会的制約の中で、女性が自身の力で生きる権利を主張し、日本における近代的な女性運動の先駆けとなりました。
問12	答え アメリカ	日本は当初、アメリカからの要請を受けて軍隊を派遣しました。日本は広大な地域に多大な兵力を送り込みましたが、アメリカは日本単独の影響力が強まることを警戒し、限られた兵力の派遣にとどめました。結果として、シベリア出兵は目的を達せないまま、日本軍にとって大きな損失を出すことになりました。
問13	答え 五・四運動	1919年5月4日、北京の学生が日本の権益継承に抗議するデモを行い、それが全国的なストライキやボイコット運動へと発展しました。これは中国のナショナリズムを大きく刺激し、近代中国の歴史における重要な転換点となりました。
問14	答え 政党内閣	政党内閣は、議会政治を重んじ、衆議院で勢力を持つ政党の力を反映して運営されます。日本で初めて本格的な政党内閣を組織したのは原敬です。選挙で選ばれた議員たちが政策を決定する仕組みが整備されました。
問15	答え 平塚らいてう	平塚らいてうは、女性の感性を活かした表現の場として1911年に雑誌『青鞥』を創刊しました。当時の女性の地位向上を求める動きを象徴する「女性は太陽であった」という宣言は、女性が自らの意志で生きる権利を主張したものです。
問16	答え 円本	1920年代に流行した「円本」は、それまで高価で手の届かなかった文学全集などを1冊1円という価格で提供する仕組みです。大量生産・大量販売のモデルが定着し、中産階級の人々が安価に教養を得られるようになりました。
問17	答え 桂太郎	桂太郎は明治後期から大正初期にかけて計3回内閣を組織しました。3度目の内閣成立時、憲法に基づかない政治姿勢に反対する民衆が激しく反発し、第一次護憲運動が勃発しました。
問18	答え 大正デモクラシー	この風潮のもとで、普通選挙運動や労働運動、女性解放運動などが盛んに行われました。また、憲法を守ることを掲げた「護憲運動」などもこの時期の特徴です。
問19	答え 原敬	立憲政友会の総裁であった原敬は、陸海軍と外務大臣を除き、すべて政党内閣を固めた日本初の本格的な政党内閣を誕生させました。貴族院や軍部ではなく、衆議院を基盤とした政治運営を行ったため、当時としては画期的でした。
問20	答え 第一次護憲運動	桂太郎が強引に内閣を組織したことに対し、尾崎行雄や犬養毅らが中心となって「憲法擁護」を訴え、大規模な国民運動に発展しました。この圧力により桂内閣は短期間で総辞職に追い込まれました。